



防災カフェ



— 暴風雪に備える —

本格的な冬の季節となり、暴風雪への注意が必要な時期となりました。暴風雪は、北海道付近を発達した低気圧が通過する時や冬型の気圧配置のときに多く発生し、特に晴天から急変するような場合は被害が起きやすくなります。

暴風雪が発生すると、吹きだまりや視界不良によって、車の運転や歩行が困難となり身動きが取れなくなることがあります。また、住宅では、暖房機等の吸排気口がふさがれて一酸化炭素中毒を起こす危険性のほか、電線着雪や強風、飛散物などにより電線が切れるなどして停電が発生し、照明や暖房器具が使えなくなるおそれがあります。

テレビやラジオなどで「数年に一度の猛吹雪」「外出を控えてください」という呼びかけがあったときは、晴れていても数時間後には猛吹雪となり、屋外での行動が危険になる場合がありますので、最新の気象情報に注意

して、暴風雪が予想されているときは無理せずに出外を控えるなどの対策をしてください。

暴風雪の情報については、市でも登録制メールやSNSなどを通じてお知らせしますので、未登録の方は登録、友だち追加をお願いします。なお、登録の仕方が分からない場合は、お問い合わせください。

○登録制メール(39メール)への登録方法

https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/fs/3/4/6/0/6/_/bousai39.pdf



○LINE友だち追加方法

<https://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/docs/5707.html>



●詳細 危機対策係

雪による事故の防止

～落氷雪、除雪等作業中の事故防止～

①早めの氷雪下ろしを

屋根からの氷雪の落下により、下敷きになるなどの事故が発生しています。氷雪が屋根からせり出している軒下などは、危険ですので近づかないようにしましょう。

また、氷雪は早めに下ろして、落氷雪による事故を防止しましょう。

②雪下ろし等の作業は複数かつ安全確保

屋根の雪下ろし中に、ハシゴや屋根から転落する事故も発生しています。

作業するときは、補助者を置くなど複数で行うとともに、転落防止や万一のときに備え、万全の措置を講じ、自身の安全を確保しましょう。

③除雪機に注意

除雪機による除雪作業中に、衣類を巻き込まれたり、下敷きになるなどの事故も発生しています。

除雪作業時は、作業に適した服装を着用し、エンジンを掛けたまま雪詰まりを取り除くなどの作業は絶対にやめましょう。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110

土砂災害警戒区域等の指定に係る関係資料の縦覧について

土砂災害防止法に基づく土砂災害警戒区域等の指定にあたり、北海道が実施した基礎調査により新たに判明した土砂災害警戒区域等の位置図の縦覧を行っています。

なお、該当区域の町内会へは、折込みチラシを配布しています。本調査結果に対するご意見がありましたら「住所・氏名・連絡先」を添えて、FAX、メールでお寄せください。

○FAX / 22-9696

○メール /

bousai@city.ashibetsu.hokkaido.jp

○意見受付期日 12月28日(月)まで

●詳細 危機対策係